

SR報告書発行
～形から入る社会的責任～

2016年1月19日

特定非営利活動法人
ハンガー・フリー・ワールド
事務局長 渡邊清孝



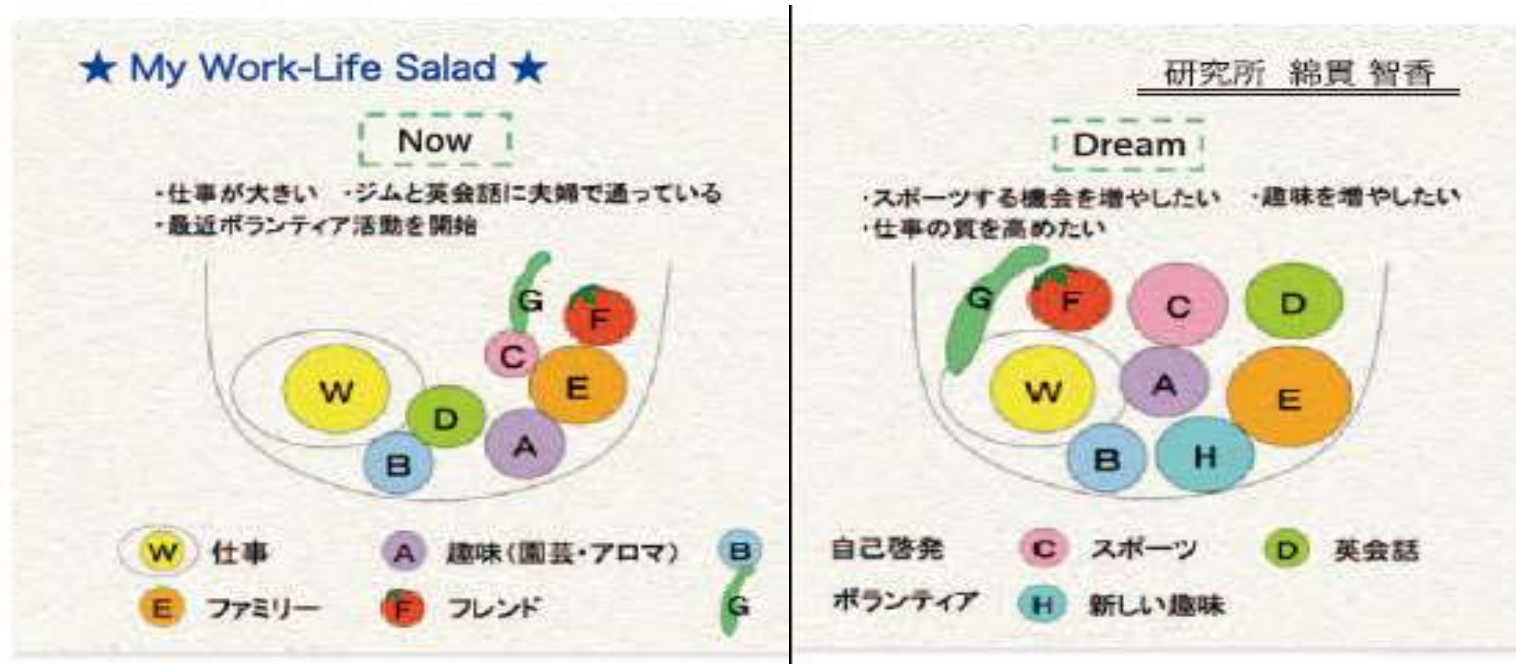
■目次

1. なぜ作ろうと思ったか
2. どのように作ったか
3. 効果は？
4. 今後の展望

■なぜ作ろうと思ったか？（背景：3つ）

その1 キューピーショック！

キューピー(株)の社会・環境報告書を見て、職員のワークライフバランスの悪さに「ガ・ク・ゼ・ン」としたのがきっかけ。



画像元：キューピーグループ社会・環境報告書2009「ハイライト」

■なぜ作ろうと思ったか その2 素朴な疑問



「CSR報告書あるけど、NGO業界は？
ISO26000取り組む同じ仲間だし・・・」

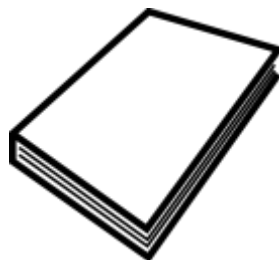
もやもやSRであれば、いっその事 **“形”** から入るか!?

⇒SR報告書発行の前向きな検討。しかし・・・

■なぜ作ろうと思ったか（3つ）

その3 躊躇

スッカスッカなんですけど～。



企業のCSRレポート



HFWのSRレポート

自分を棚に上げること ◎ ⇒SR報告書発行の決定！

“恥”より“始める”が大切。

年次報告書からの離脱：紛らわせない！

■どのように作ったか？

1. **重点項目の特定WS（2014年8月～11月） 50h**
2. **行動計画書作り（2014年12月～2015年1月） 20h**
3. **報告書作成（2015年2月～3月） 30h**

■どのように作ったか？

2. 重点項目の特定WS&作業（2014年8月～11月）

IIHOE（人と組織と地球のための国際研究所）発案の
“ISO26000 『7つの中核主題』に示された行動例や課題に対して、
団体としての「重要度」「リスクと実現可能性」を評価する、
優先順位決定モデル”を活用。※別紙参照

- | | |
|----------------------------|------|
| 1) 捨てる作業（〇こす作業） | 約30h |
| 2) Q&A, Q&A, Q&A | 約5h |
| 3) 再編集 | 約15h |

■成果

◎自組織のあり方に向き合う機会となった

⇒SR方針作り

※多くの企業の報告書見て！



■今後の展望

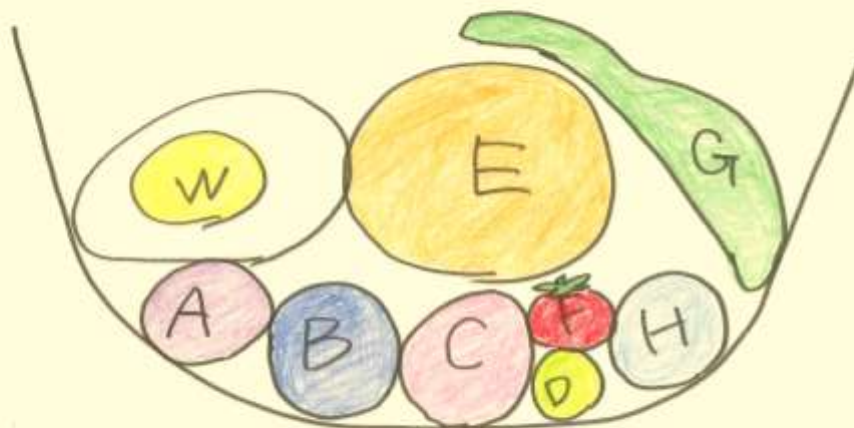
1. ちゃんとモニタリング & 2年毎に発行
2. 外部の声に耳を傾ける（重要）
3. 少しでも多くの組織のSR報告書発行のきっかけに・
（多くのステークホルダーの願望かも）

■今後の展望

Dream

支援者コミュニケーション 甲野 綾子

- ・健康づくりしたい ・子どもとの時間を濃密にしたい ・親孝行したい
- ・仕事で革新的な成果を出したい ・地域でコミュニティカフェをしたい



Ⓜ 仕事 ⓐ 趣味(バイオリン) ⓑ 自己啓発 ⓒ スポーツ

ⓓ 英会話 ⓔ ファミリー ⓕ フレンド ⓖ ボランティア ⓗ 新しい趣味



■今後の展望

急がば回れ！

こうしたことが、”組織“と”社会“の健全な発展に寄与し、結果として、ミッションの達成に早い速度で近づく。

人を幸せにするには、先ず・・・

社会を発展させるには、先ず・・・

「“◎◎してる”って言わないと
その想いすら消えてしまうよ・・・」

未来は“言葉（活字）”
の中にあるかも



ハンガー・フリー・ワールドのSR報告書2014は下記のURLからご覧になることができます。

http://www.hungerfree.net/special/topi_14.html

社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク（NNネット）サイトの関連ページもご参照ください。

<http://sr-nn.net/ngonposr>

IIHOE（人と組織と地球のための国際研究所）ブログもご参照ください。

中ほどのページに配布資料のフォーマットが掲載されています。

<http://blog.canpan.info/iihoe/index-6.html>